

Press Release

2025 年 8 月 19 日

報道機関各位



武庫川女子大学
Mukogawa Women's University

広報室

(Tel 0798-45-3533)

(E-mail kohos@mukogawa-u.ac.jp)

英語プレゼン、英語スピーチ上位入賞の秘策を伝授！ 英語グローバル学科・清水利宏教授のブログが好評

英語プレゼンテーションや英語スピーチで 9 年連続全国大会上位入賞（優勝 7 回）を続ける武庫川女子大学英語グローバル学科の英語スピーチ/プレゼンテーション研究室（清水利宏教授）のウェブサイトが好評です。清水教授が毎日投稿するブログは 7 月の月間新規ユーザーが 1000 人を超え、大学のゼミとしては異例の注目を集めています。スピーチやプレゼンの「テーマに関する記事」がよく検索されており、プレゼンやスピーチの課題に悩んだ人が訪れる様子が伺えます。清水教授は「そつのない原稿は AI でも作れる時代ですが、スピーチやプレゼンに必要なのは伝える力。人の心に響くプレゼン作りの心構えを知ってもらいたい」と話しています。

森田杯・英文毎日杯 ペアで紹介する日本文化英語プレゼンコンテストで 3 回優勝、第 13 回 城西大学 英語スピーチコンテスト優勝、第 27 回 人見杯 英語スピーチコンテスト準優勝、第 9 回 デネブ杯争奪 インビテーション英語スピーチコンテスト優勝、第 17 回 青嵐杯 大学生英語スピーチコンテスト優勝——。

英語スピーチ/プレゼンテーション研究室は 2016 年に開設。英語による発信力を磨くため、ゼミ生にコンテストへのチャレンジを推奨し、9 年連続で全国大会上位入賞を続けています。今年もゼミの 2、3 年生が大会への出場を目指し、夏休み返上で自主練習を続けています。

清水教授自身、スピーチの研究者でありスピーチの達人。数々のスピーチコンテストで審査員も務めています。2025 年 4 月に研究室のウェブサイトをリニューアルし、「スピーチやプレゼンに関心のある人に広く知識や上達法を発信しよう」と、「スピーチブログ」をスタートしました。記事は毎日更新し、月間新規ユーザーは 7 月に 1000 人を超えました。

ブログのテーマは多彩です。「スピードは 5 段階の間（ま）が重要」と題するブログでは、「句→節→カンマ→ピリオド(文)→段落」の順で、より長く間をおくことが聞きやすさにつながると指摘します。「スピーチは引き算」と題するブログでは、「スピーチは話題の引き算によって引き締まる。何を言うかではなく、何を言わなくても良いかを考える」。初心者向け英語上達法として提示するのは「冷蔵庫に語り掛ける」練習法。扉を開ける時は"Can I open the door?"、美味しそうなものがあれば"Wow, this looks delicious!" などと英語でつぶやくことが、野球の「素振り」のような効果をもたらすと言います。

「スピーチで伸ばすべきは英語力（筋力）ではなく、語りの豊かさ（筋肥大）。だから伝え方を磨く“筋トレ”で筋肥大を目指す反復練習が有効」、「説得型スピーチの締めくくりは、課題解決で得られる未来と、そこで暮らす自分たちの未来を“二階建て”で示すといい」など、表現もユニークです。スピーチでテーマと関連の薄い論点や話題が次々出てくると、「終わりの見えないコース料理のような不安を感じる」と、自らも審査員を務めることが多い清水教授ならではの実感のこもった指摘も。

夏休みに入り、ユーザーの伸びはひと段落しましたが、サイトを通じて質問や講演依頼も舞い込みます。清水教授は「生成 AI を使えば何らかの原稿は出来てしまう時代。だからこそ、スピーチやプレゼンの考え方や取り組み方といった、人間的で本質的な学びが見直されるはずです。本学の英語グローバル学科が、全国規模のコンテストで入賞を続ける秘訣を、このサイトを通じて感じていただければ」と話しています。

英語スピーチ/プレゼンテーション研究室は <https://speech.jp>

この件に関する取材のお申込み、お問い合わせは
広報室 Tel 0798-45-3533
メール kohos@mukogawa-u.ac.jp
へお願いします

